

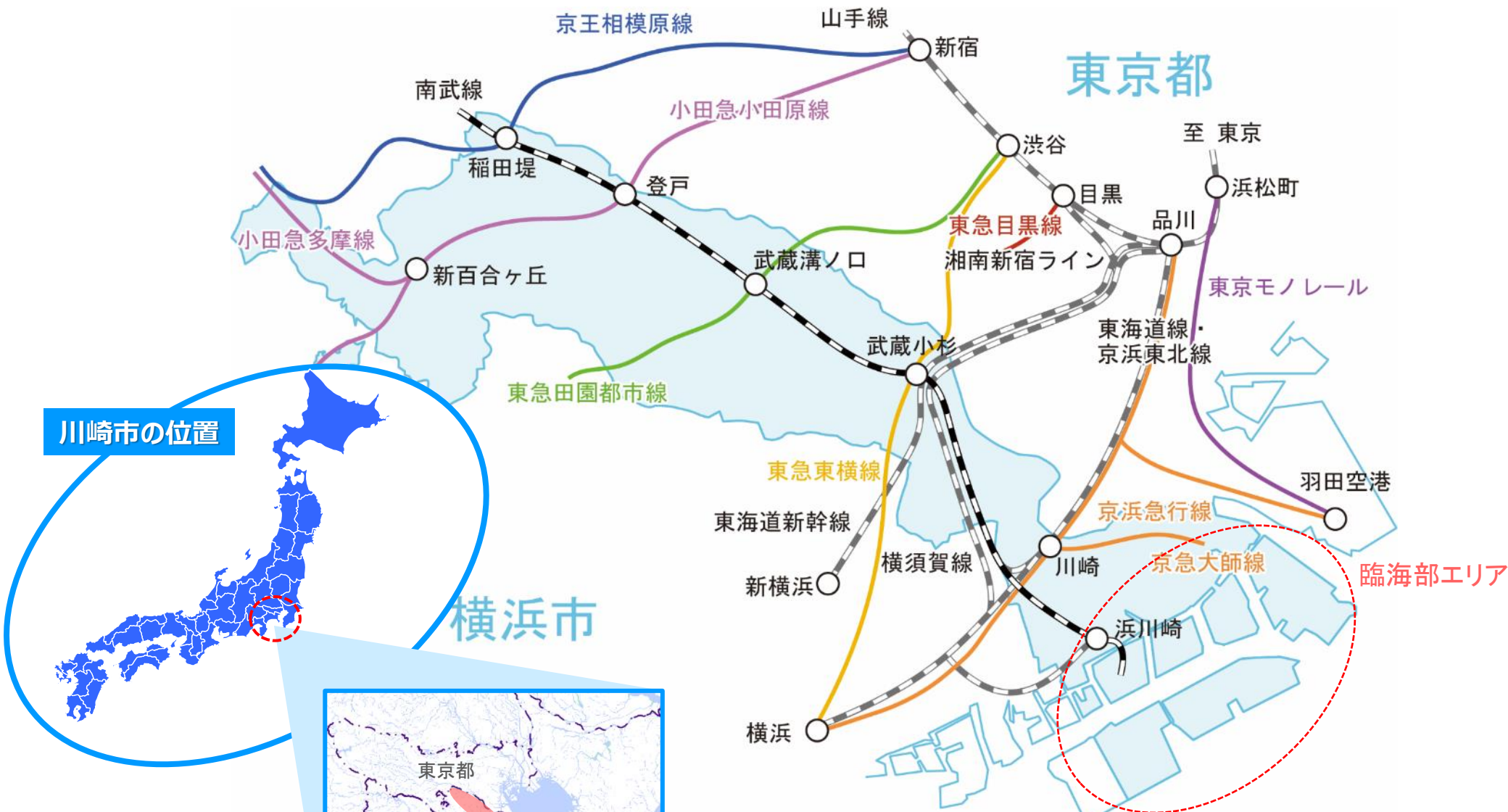
南渡田地区における 新産業拠点形成の取組

川崎市

臨海部国際戦略本部

2025年11月

川崎市について



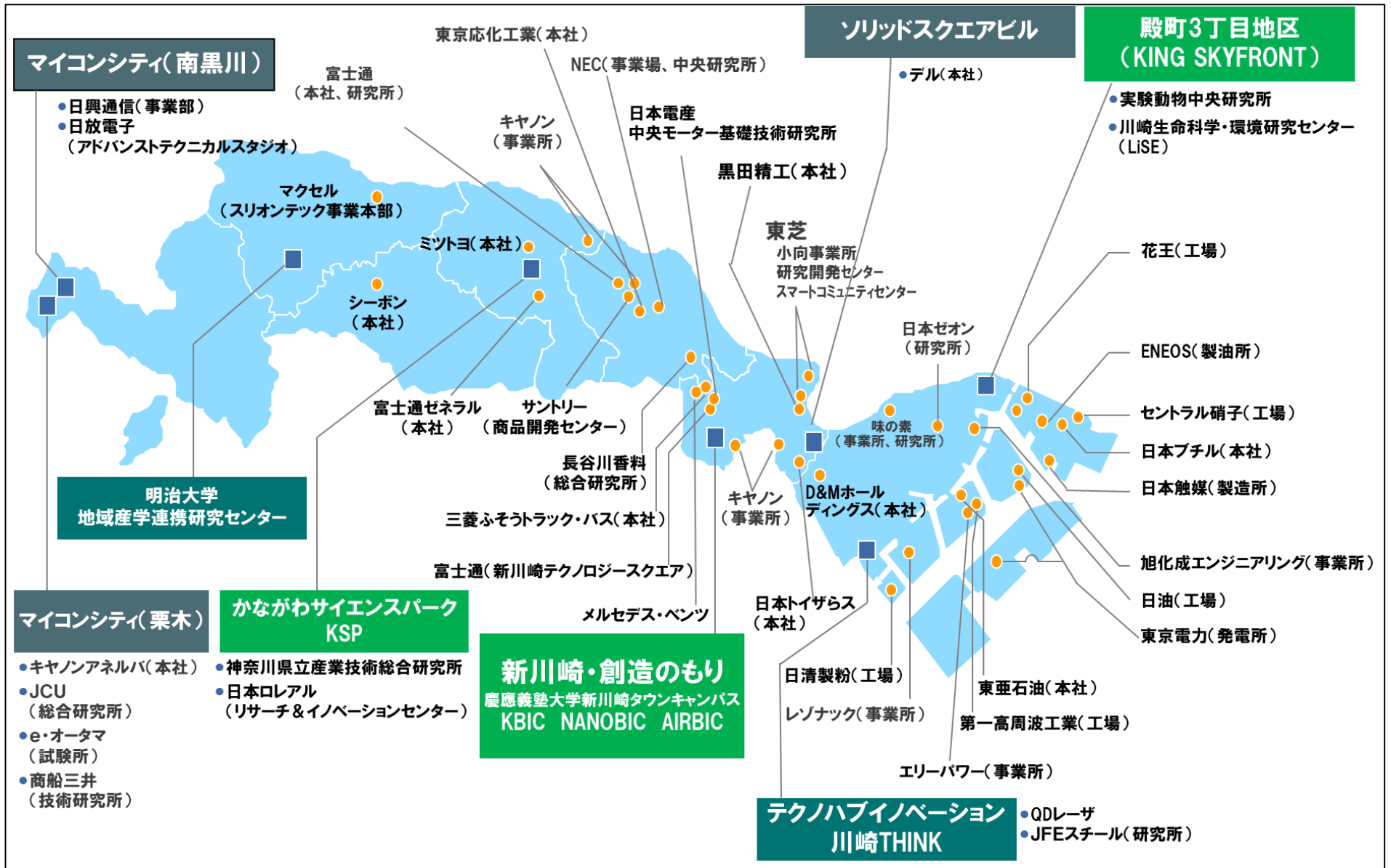
出典: 地理院地図

川崎市 DATA

人口	1,557,683人 (R7.7.1) 【政令市第6位】
面積	144.35km ²

川崎市の研究開発拠点

市内には**550以上の研究開発機関**が立地



川崎臨海部

～基礎情報～

面積：約**2,800**ha

事業所数：約**2,700**

従業者数：約**71,000**人

製造品出荷額：約**3.4**兆円（川崎区約**2.5**兆円）

南渡田地区

研究開発機能

キングスカイフロント

リサイクル産業

石油・化学産業

エネルギー産業

鉄鋼業

港湾物流

地理院タイルに事業所立地情報を追記して掲載

平成29年度に、30年後を見据えた「臨海部ビジョン」を策定
川崎臨海部は、将来にわたって**産業が躍動し続ける地域**を目指す！

イノベーションが次々に
生み出される

日本最大の
付加価値創出

国内外の結節点

資源循環を実現

楽しく働ける

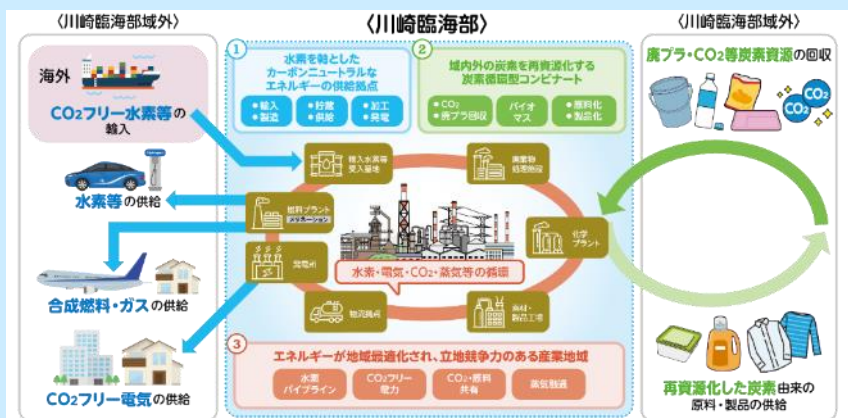
人、モノ、情報が行きかう

臨海部を取り巻く環境

JFEスチール（株）東日本製鉄所の高炉等休止により
生まれる広大な土地の土地利用転換が進められています。



コンビナートのCN化に向けて、「水素」、「炭素循環」、「エネルギー地域最適化」の3つの柱に取り組んでいます。



土地利用轉換面積：約400ha

約400ha

	凡	例
	廃棄物処理	 貨物線
	エネルギー	 旅客線
	鉄鋼	 有料道路・高速道路
	物流・埠頭	 事業中の道路
	その他の業種	 国道
	公園・緑地	 その他の道路

池上町・扇町・水江町地区
約74ha

扇島地区
約280ha

令和5年9月に高炉等を休止

JFEスチール株式会社 敷地面積約500ha

川崎臨海部の100年を担うプロジェクト

【南渡田地区】約52ha

【400haの先鞭となる新産業拠点形成】

「マテリアルから世界を変える産業拠点」

キーワード：

マテリアル、クライメートテック、スケールアップ拠点、グローバルハブ

2027年度 大規模賃貸型R&D拠点整備

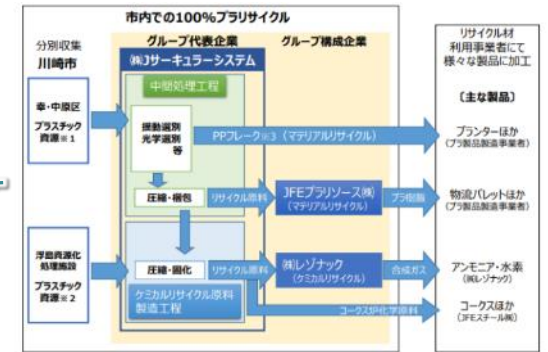


【池上町・水江町地区】約51ha

【土地利用の具体化に向け検討中】

キーワード：リサイクル 等

2025年 スーパーソーティング センター整備 〈一部先行稼働済〉



2028年 水素受入・供給拠点整備



【扇島地区】約280ha

【我が国の重点課題解決に資する土地利用】

キーワード：

カーボンニュートラルエネルギー／次世代産業・革新技術の創造／未来を体験できるフィールド

ロジスティクス・ネットワーク コンテナ等 東横線

扇町地区：物流事業

南渡田地区 - 新産業拠点形成の取組

南渡田地区の概況



南渡田地区 - 新産業拠点形成の取組



南渡田地区 Minami-Watarida

**クライメートテックを
社会実装するスケールアップ拠点**

拠点の強み



羽田近接によるグローバルとの接続

- ・羽田空港:約 5 km
- ・空港近接による国内外へのアクセスしやすさ



都心アクセスを活かした人材集積

- ・品川駅まで約13kmの好立地
- ・人材確保がしやすいほか、首都圏の一大消費圏に近接



工業地帯ならではの高い自由度と拡張性

- ・都心に近接しながら、52haの広大な敷地を活用して本格的な研究開発・実証が可能



臨海部内産業との親和性

- ・素材産業を始めとした企業が集積しているほか、カーボンニュートラルコンビナートの実現等に向けた取組が臨海部内で進展

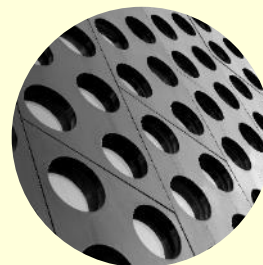
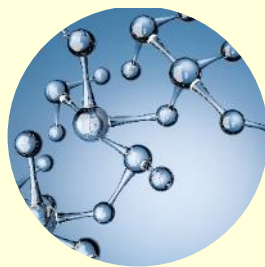
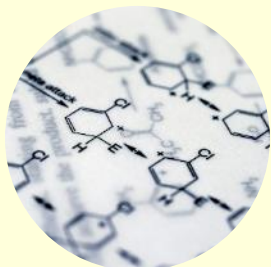
南渡田地区 - 新産業拠点形成の取組

クライメートテック Climate Tech

※気候変動の問題を解決するため、CO2排出量の削減や地球温暖化の影響への対策を講じる革新的なテクノロジー

「マテリアル(素材)から世界を変える産業拠点」

革新的なマテリアルを生み出す研究開発機能の集積



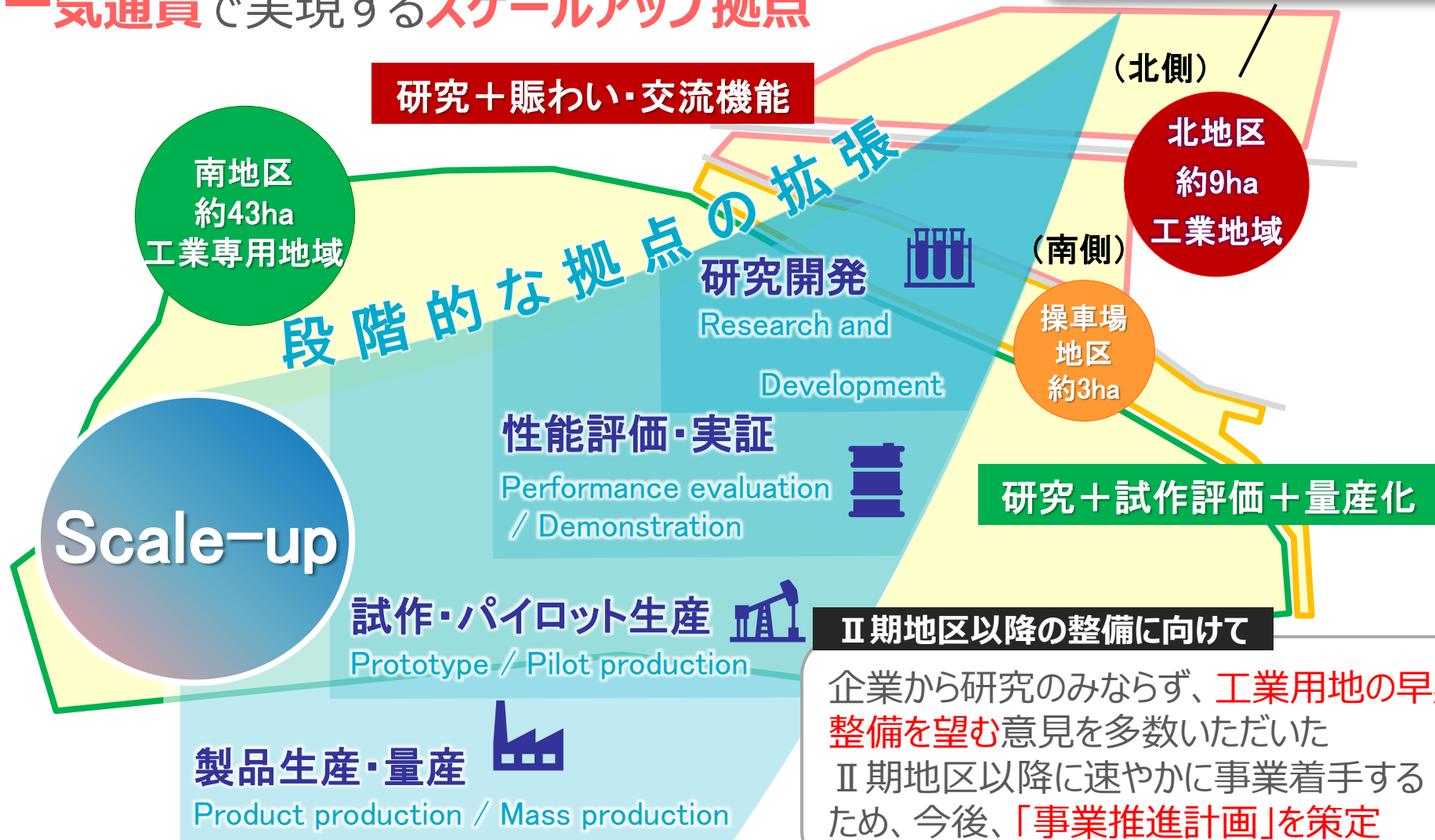
世界的な社会課題である「気候変動」の解決に貢献



南渡田地区 - 新産業拠点形成の取組

スケールアップ^oScale-up

原料調達、研究開発、試作、生産までを
一気通貫で実現する**スケールアップ拠点**



南渡田地区 - 新産業拠点形成の取組

ラボ機能の集積による研究開発拠点の形成

I 期地区：北地区北側（約5.6 h a）

事業パートナー：ヒューリック株式会社

まちびらき：2027年度



I 期地区のイメージ

約10万m²の大規模賃貸
R&D施設

多様な研究ニーズに対応
できる設備使用

研究棟A

研究棟C

研究棟B

商業棟

コミュニティ棟

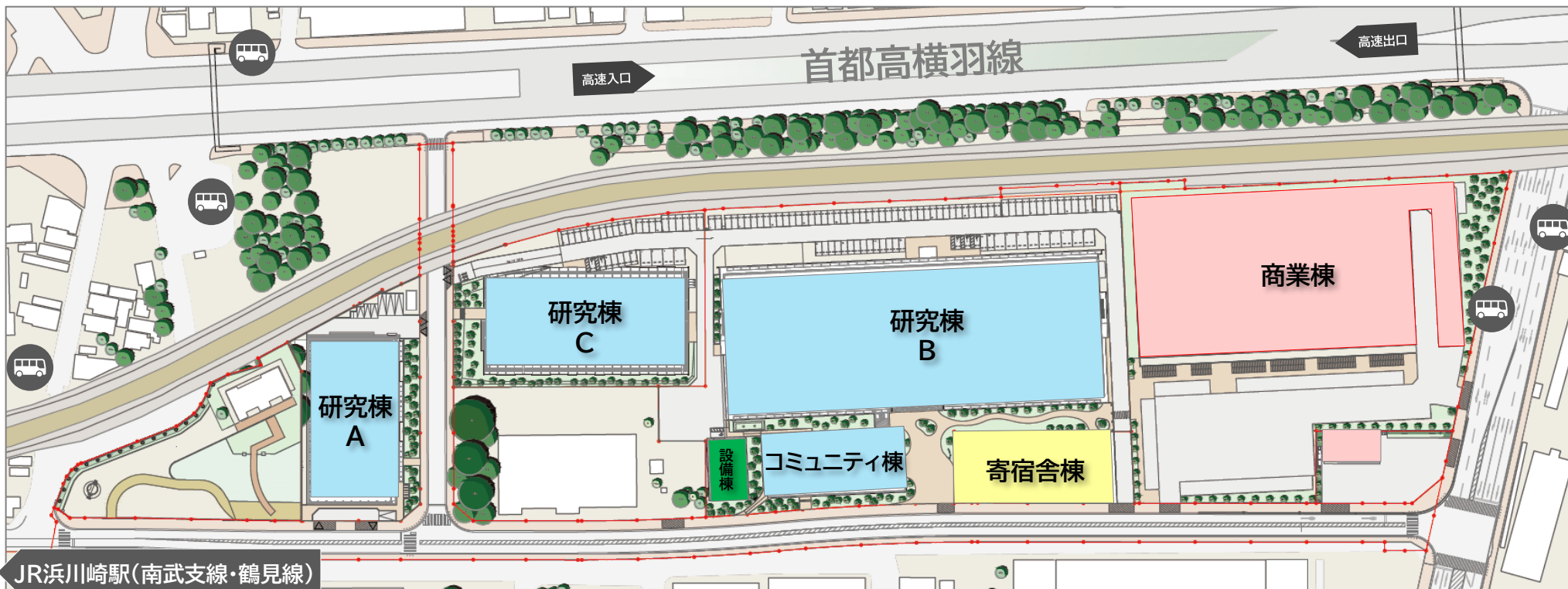
寄宿舍棟

オープンイノベーションの
創出に向けた交流の
仕組みづくりを推進

快適な就業環境の創出に
向け、商業機能を整備

南渡田地区 - 新産業拠点形成の取組

I 期地区（北地区北側）の全体配置図



	研究棟A	研究棟B (コミュニティ棟含む)	研究棟C	寄宿舍棟	商業棟
主要用途	研究所	研究所、店舗	研究所	寄宿舍	店舗
延べ面積	約 13,340㎡	約 62,000 ㎡	約 20,000 ㎡	約 3,900 ㎡	約 7,600 ㎡
建物高さ	約 37 m (8F)	約 51 m (9F)	約 51 m (10F)	約 17 m (5F)	約 10 m (2F)

南渡田地区 - 新産業拠点形成の取組

研究棟Bの 平面プラン（基準階）

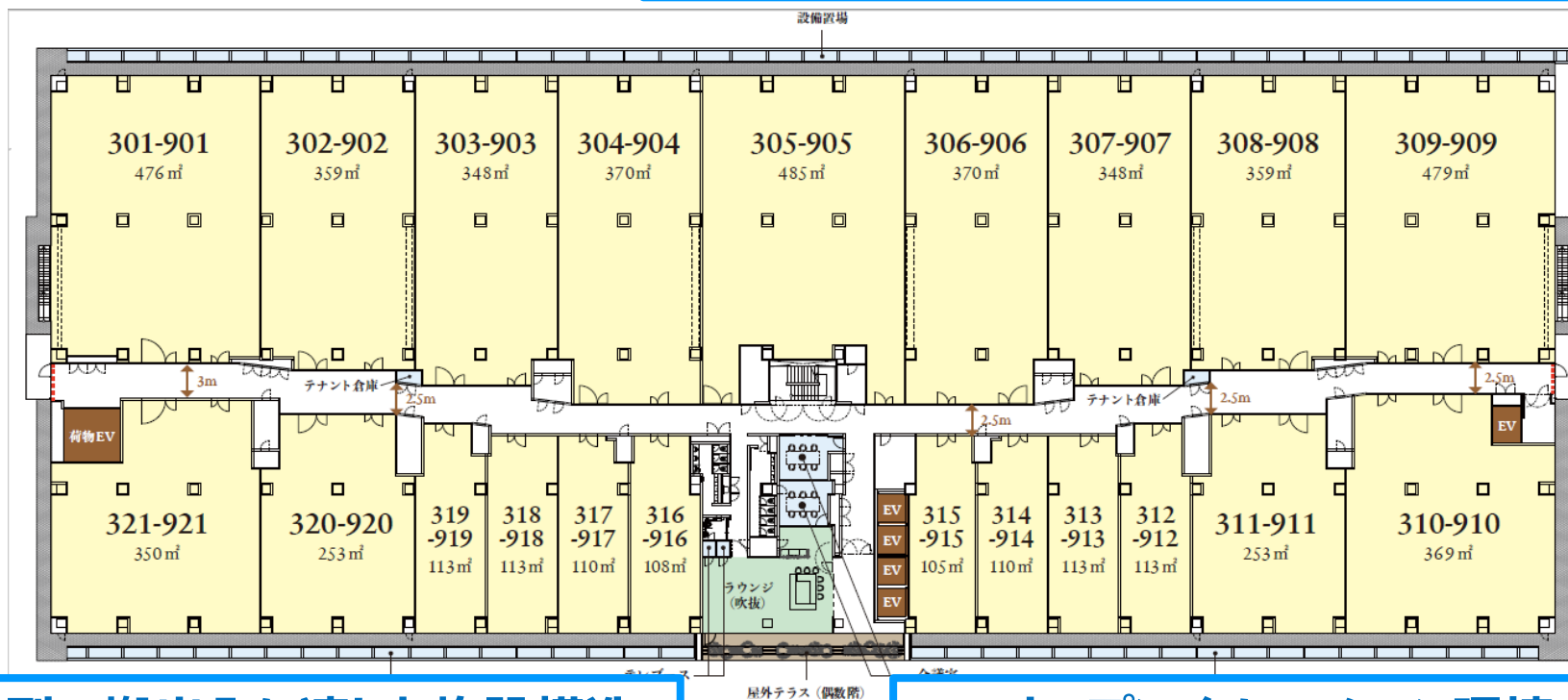
※現時点での計画であり、今後変更となる場合があります。

豊富な区画バリエーション

1区画約30坪～1フロア
約2,000坪の区画割が可能

フレキシビリティの高い貸室

自由度の高いスケルトン区画のほか、一部、初期費用負担を軽減する空調・照明実装済のセットアップ区画（スタートアップ向け）を検討中



大型の搬出入に適した施設構造

4tサイズの貨物用EVと、2.5m(一部3m) 幅の廊下・専有部開口で大型機器の搬出入に対応

オープンノベーション環境

会議室やイベントスペースを備えるコミュニティ棟に加え各階にも会議室やラウンジなど共用部が充実

南渡田地区 - 新産業拠点形成の取組

研究棟Bフロア構成

フロア	フロア コンセプト	階高	床荷重	床仕上	電気容量		最大局所排気量 (目安)	排気方法 / 設備置場	フロア
					単相 (100/200V)	三相 (200V)			
9F	Heavy Experiment Zone						2,100~12,600CMH	各区画各階排気※/ メカニカルバルコニー設置 + 屋上排気 / 設置対応可能	9F
8F									8F
7F									7F
6F	General Experiment Zone	4,300mm	500kg/m ²	耐薬 長尺シート	200VA/m ²	約230~370VA/m ²	1,680~6,300CMH	各区画各階排気※/ メカニカルバルコニー設置	6F
5F									5F
4F									4F
3F									3F
2F	Large Equipment Experiment Zone	5,500mm	1,000kg/m ²	コンクリート 表面強化剤			2,100~6,300CMH		2F
1F		6,000mm	1,500kg/m ²						1F

※スクラパー付ドラフトチャンバーなど除害装置一体型設備を想定

貸室/設備概要

基準階面積	約6,700m ² (約2,000坪) ※最小区画：約100m ² (約30坪)
給水	各区画引込済 (廊下側 1 か所/25~40A)
排水	各区画 2 系統 (実験排水/一般排水) 引込済 ・実験排水：1~3 か所/各100A ※3次洗浄後のみ排水可 ・一般排水：廊下側 1 か所/100A ※300m ² 以下区画の除く
危険物・ガス	・危険物/実験用高圧ガス取扱可 ※種別・量は要相談
その他	・P2/BSL2 対応可 ・扉サイズ W2.5m×H2.5m ※一部区画W3.0m×H3.0m ・搬出入EV (4トﾝ、W2.5m×D3.0m×H3.0m)

引渡し仕様

天井仕上	スケルトン ※一部システム天井実装区画検討中
空調	実装なし ※一部実装(一般事務所相当)区画検討中 ※ラボ機器熱負荷対応や局所排気による エアバランス用空調の設置工事は賃借人区分
照明	実装なし ※一部実装区画検討中
床仕上	耐薬長尺シート張り

※現時点での計画であり、今後変更となる場合があります。

南渡田地区 - 新産業拠点形成の取組

研究棟

※イメージ



商業棟



外観



コミュニティ棟



南渡田地区 - 新産業拠点形成の取組

拠点アクセス

■南渡田の位置

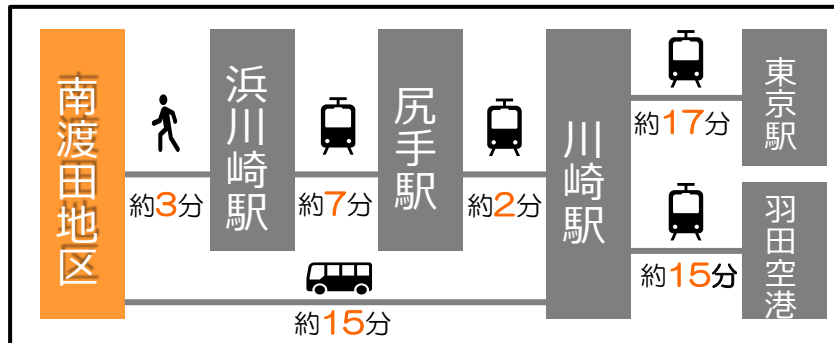
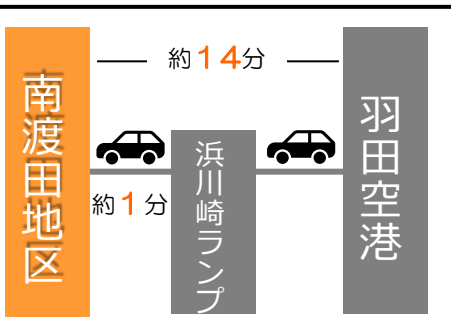


■臨海部の交通網都



〈車アクセス〉

〈公共交通アクセス〉



バス

「川崎駅」⇔「JFE前」ほか

川13「扇町」行 → 「川崎港郵便局前」
 川17「浜町・渡田循環」行 → 「JFE前」
 川17「渡田・浜町循環」行 → 「JFE前」
 川22「三井埠頭」行ほか → 「川崎港郵便局前」
 川24「鋼管循環」行ほか → 「浜川崎営業所」
 川40「JFE前」行ほか → 「JFE前」

停留所から 徒歩**1~3分**

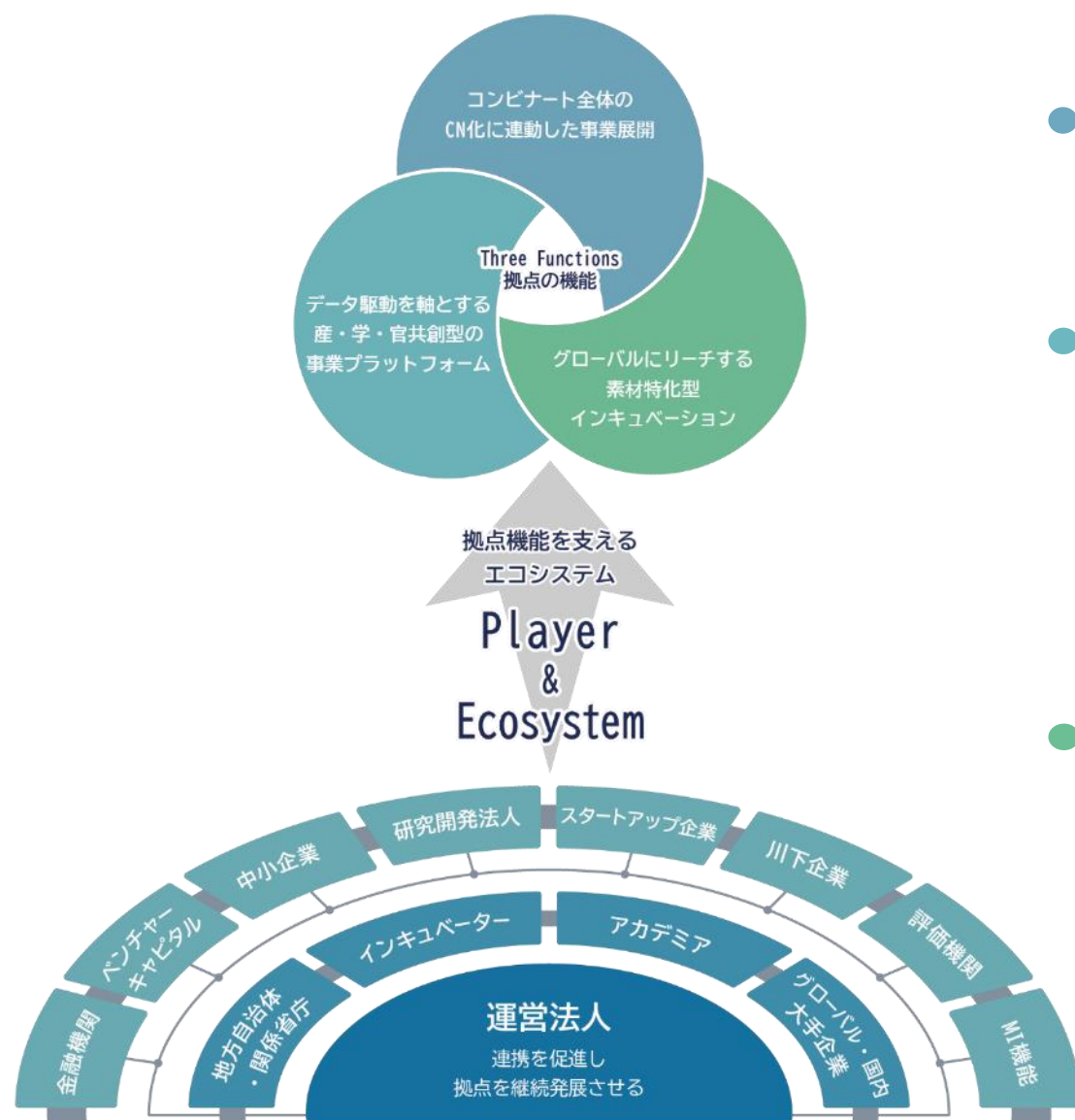
電車

JR南武支線「浜川崎駅」

JR鶴見線「浜川崎駅」 各徒歩**3分**

南渡田地区 - 拠点の成長戦略

先端素材企業、スタートアップ、アカデミア、インキュベーターなど、多様な関係者との強力なエコシステムを構築し、グローバル市場を見据えたクライメートテック関連産業の創出・成長を支援します



- コンビナート全体のCN化に連動した事業展開
 - ・ 扇島地区の水素供給拠点化に伴う水素利活用の促進
 - ・ マテリアル・ケミカルサイクルPJの実装等、サーキュラーエコノミーへのアプローチ
- データ駆動を軸とする産・学・官共創型の事業プラットフォーム
 - ・ 国研と連携したデータ活用
 - ・ 技術開発の最適化・生産プロセスの高度化支援
 - ・ シーズ・ニーズのマッチングによる新規事業創出、投資先の発掘
 - ・ 国プロ参画のコーディネート
 - ・ アカデミアとの共同研究・事業連携支援
- グローバルにリーチする素材特化型インキュベーション
 - ・ 資金支援(直接・間接)
 - ・ 高度人材紹介
 - ・ 経営・エンジニア人材の育成
 - ・ 羽田空港への近接性の活用
 - ・ 海外VC・インキュベーターを通じた海外市場へのアクセス
 - ・ 海外スタートアップエコシステムとの連携

イノベーションエコシステムの構築に向けて

ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター(株)と協定を締結

南渡田地区におけるイノベーションエコシステムの構築に向けて連携

主な協力内容： ●事業創出及び企業育成 ●産業拠点形成の推進方策 ●企業誘致



世界的にも稀有な素材産業に特化した
インキュベーター

木場社長は内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム」
(SIP) のプログラムディレクター (PD) を務める

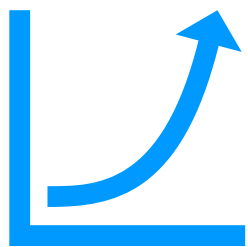


戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

国や物質・材料研究機構（NIMS）等と連携し、
我が国からマテリアルユニコーンを数多く創出するための
エコシステム確立に取り組む

マテリアルユニコーンの出口を南渡田へ

成長戦略



マテリアルイノベーションエコシステム
の構築に向け多様な関係者との
連携可能性を追求します。

基盤整備等の推進



研究開発から生産までを一気通貫で
実現できるような土地利用に向けて、
基盤整備の取組を推進します。

参考) 支援制度

セレクト神奈川NEXT

(1) 企業立地促進補助金

対象：県外からの立地/県内再投資

土地・建物・設備への投資額に一定割合を乗じた金額を上限額の範囲内で補助

補助金額：投資額の **3%** (大企業)、**6%** (中小企業)、上限 **5億**

※特区制度活用などの場合は投資額の **6%** (大企業)、**12%** (中小企業)、上限10億円

(2) 税制措置

対象：県外からの立地/県内再投資

不動産取得税の **1/2** を軽減

※都市再生緊急整備地域では地域決定型地方税特例措置を活用し、更に **3/10** 又は **6/10** 軽減

(3) 企業立地促進融資 (中小企業・中堅企業のみ)

対象：県外からの立地/県内再投資

県が金融機関に対して補助することで、金融機関からの融資を通常よりも低利で受けられます。
また長期・固定の融資条件を設定

融資額：最大 **10億円** (ただし事業費の80%以内、融資期間20年以内 (2年以内の据置期間を含む))

(4) 企業誘致促進賃料補助金

対象：県外からの立地/県内再投資 (外国企業のみ)

新たに工場、研究所、事務所などの事業所に対して、賃料に一定割合を乗じた金額を上限額の範囲内で補助

補助期間：6か月 (操業開始時点から)

補助金額：賃料月額 **1/3**、上限 **600万円** ※消費税、敷金、礼金は除く

※特区制度活用などの場合は、賃料月額の **1/2**、上限900万円

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pw3/selectkanagawanext/index.html>

参考) 支援制度

イノバート川崎ネクスト（川崎臨海部研究開発機能強化補助金）

■ 概要

戦略的に土地利用を推進する地域において研究開発拠点の形成に資する研究所等の新設に係る経費に対し、補助金を交付

■ 対象地域

キングスカイフロント及び南渡田地区

■ 支援内容

	投下固定資産額	施設	補助率	常用雇用者数	補助限度額
① 自社活用型	【大企業】 50 億円以上	研究所	12%	【大企業】 50 人以上	20 億円
	【中小企業】 5 億円以上	工場・事務所等	9%	【中小企業】 10 人以上	
② 賃貸R&D型	【大企業】 20 億円以上 【中小企業】 5 億円以上	研究用の共用機器等 を有する賃貸研究所	6 %		

参考) 支援制度

その他

〈川崎市の取組〉

- 中小企業向け施策（施策ハンドブック）
<https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000117209.html>
- 中小企業向け助成制度
<https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000138261.html>
- 起業・創業支援「K-NIC」
<https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000105532.html>

〈国の取組〉

南渡田地区は次の地域指定を受けています。

	制度概要	支援内容
国家戦略特区 (東京圏国家戦略特別区域)	産業の国際競争力を強化するとともに、国際的な経済活動の拠点を創出するために、国が主導となり規制やその他の施策を重点的に進める区域 (神奈川県全域で指定)	規制緩和や税制優遇等の特例措置など
都市再生緊急整備地域	都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として、国が指定する地域 (「浜川崎周辺地域」として指定)	土地利用規制緩和や金融・税制支援等の特例措置など